



2019年3月1日

各 位

会社名 北日本紡績株式会社
代表者名 代表取締役社長 仲治 文雄
(コード番号 3409 東証第二部)
問合せ先 取締役総務部長 西川 康一
(TEL : 076-277-7530)

当社株式の時価総額に係る猶予期間の解除についてのお知らせ

当社株式は、2019年2月において月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円以上となり、東京証券取引所の上場廃止基準に該当しないことになりましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社株式の時価総額について

当社株式は、2018年12月の月末時価総額が10億円未満となり、東京証券取引所の有価証券上場規程第601条第1項第4号a本文(時価総額)に定める上場廃止基準に係る猶予期間に入りましたが、2019年2月における月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円以上となりましたことから、東京証券取引所の定める上場廃止基準に該当せず、猶予期間入りの指定が解除されることとなりました。

(ご参考)

- ① 2019年2月の月間平均時価総額 1,304,350,763円
 - ② 2019年2月の月末時価総額 1,799,793,400円
- (2月28日終値1,394円×2月28日上場株式数1,291,100株)

2. 今後の見通しについて

2019年2月8日付公表の2019年3月期第3四半期決算において紡績事業の受注は堅調に推移しているものの資材・各部品代の高騰や労働力の確保に苦しみ、合理的な生産を行うことができず、営業損失6百万円を計上しております。

当社は、2018年6月11日にお知らせいたしました通り、紡績事業の強化、新たなる事業領域の開拓及び人材育成・職場環境の改善に取り組むこととしており、中期経営計画「CHALLENGE KITABO」を策定し、収益力の強化に全社一丸となって取り組んでおります。新規ビジネスとして取り組み始めました中東への民族衣装の生地販売については、中東情勢が厳しい中でのスタートとなりましたが、少量ではあるものの各地域で成約もできており、基本的な商売ベースの確立とマーケットに合った商品開発を進めてまいります。

この中期経営計画を着実に実行することにより、今後も引き続き東京証券取引所における上場を維持するよう最大限の努力をしていくことはもとより、企業価値の更なる向上に取り組んでまいります。株主の皆様をはじめ、関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をお掛けいたしました。引き続き格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上